

平成 30 年度第 8 回阿波おどり実行委員会 会議次第

平成 30 年 10 月 24 日 (水) 午前 10 時～
中央公民館 3 階 302 会議室

- 1 開 会
- 2 議 題
 - (1) 阿波おどり事業の決算見込みについて
 - (2) 阿波おどり振興協会の対応について
 - (3) 阿波おどり運営協議会の議論について
 - (4) 阿波おどり事業検証有識者会議の設置について
- 3 その他
- 4 閉 会

〔別添資料〕

- 資料 1 阿波おどり事業の決算見込みについて
- 資料 2 2019 年度阿波おどりの開催に向けて
- 資料 3 阿波おどり運営協議会議事概要
- 資料 4 阿波おどり事業検証有識者会議の設置について

阿波おどり事業の決算見込みについて

今年の阿波おどりの決算見込みは、約 2,900 万円の赤字 (a) である。ただ、今年、観光協会所有の棧敷照明などを破産管財人から購入しており、これを除く通常の収支は、約 1,900 万円の赤字 (b) となる。

赤字の要因としては、支出は、警備業務に係る人数や単価の増などから約 700 万円増加 (c) したものの、最大の要因は、チケット収入が約 3,400 万円減少 (d) したためである。

(単位 千円)

	28 年度	29 年度 ア	30 年度 イ	差引イーア
収入	277,609	269,349	239,804	△29,545
通常収入	277,609	269,349	239,804	△29,545
チケット	196,915	197,921	164,017	d △33,904
支出	286,301	251,484	269,176	17,692
通常支出	286,301	251,484	258,416	c 6,932
臨時支出	—	—	10,760	10,760
収支	△8,692	17,865	a △29,372	△47,237
通常収支	△8,692	17,865	b △18,612	△36,477

注) 29 年度の数値は、平成 29 年 10 月に開催された阿波おどり実行委員会で、観光協会が配付した決算見込みの数値。

1 通常収支決算(総括)

(1) 収入

(単位 千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		差引	
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算額・概算	当初予算額	決算見込み額	30決-29決	30決-28決
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	カーエ	カーイ
入場料収入	215,343	196,915	217,161	197,921	217,106	164,017	△ 33,904	△ 32,898
有料演舞場	179,163	164,549	183,176	162,321	183,106	130,902	△ 31,419	△ 33,647
選抜阿波おどり	36,180	32,366	33,985	35,600	34,000	33,115	△ 2,485	749
補助金	31,670	31,670	31,670	31,670	26,294	26,294	△ 5,376	△ 5,376
シャトルバス収入	5,200	4,605	4,836	4,450	4,600	3,400	△ 1,050	△ 1,205
広告料・協賛金等	101,416	44,419	46,698	35,308	47,000	46,093	10,785	1,674
広告料・協賛金等	—	—	—	—	—	41,489	—	—
臨時駐車場	—	—	—	—	—	4,604	—	—
計	353,629	277,609	300,365	269,349	295,000	239,804	△ 29,545	△ 37,805

(2) 支出

(単位 千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		差引	
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算額・概算	当初予算額	決算見込み額	30決-29決	30決-28決
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	カーエ	カーイ
有料演舞場事業費	173,900	156,819	153,360	126,037	143,200	125,621	△ 416	△ 31,198
選抜阿波おどり事業費	35,350	32,393	33,694	32,594	33,000	31,270	△ 1,324	△ 1,123
無料演舞場事業費	44,110	29,050	32,579	31,481	29,000	31,486	5	2,436
にわか連事業費	9,869	10,660	9,733	9,421	11,000	8,609	△ 812	△ 2,051
シャトルバス事業費	35,272	27,546	29,066	27,140	28,000	28,492	1,352	946
総合案内所事業費	1,601	753	730	848	800	679	△ 169	△ 74
その他	53,527	29,080	34,456	23,963	30,000	32,259	8,296	3,179
借入金返済支出	0	0	6,747	0	20,000	0	—	—
計	353,629	286,301	300,365	251,484	295,000	258,416	6,932	△ 27,885

(3) 収支(収入-支出)

(単位 千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		差引	
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算額・概算	当初予算額	決算見込み額	30決-29決	30決-28決
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	カーエ	カーイ
収支(収入-支出)	0	△ 8,692	0	17,865	0	△ 18,612	△ 36,477	△ 9,920

2 収入・入場料収入

(単位 千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		差引	
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算額・概算	当初予算額	決算見込み額	30決-29決	30決-28決
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	カ-エ	カ-イ
入場料収入	215,343	196,915	217,161	197,921	217,106	164,017	△ 33,904	△ 32,898
有料演舞場	179,163	164,549	183,176	162,321	183,106	130,902	△ 31,419	△ 33,647
市役所前	—	27,716	—	29,765	—	18,850	△ 10,915	△ 8,866
藍場浜	—	63,881	—	61,972	—	55,649	△ 6,323	△ 8,232
紺屋町	—	31,611	—	29,742	—	25,618	△ 4,124	△ 5,993
南内町	—	41,341	—	40,842	—	30,785	△ 10,057	△ 10,556
選抜	36,180	32,366	33,985	35,600	34,000	33,115	△ 2,485	749
前夜祭	—	15,258	—	17,493	—	15,933	△ 1,560	675
選抜阿波おどり	—	17,108	—	18,107	—	17,182	△ 925	74

阿波実発 171 号

平成 30 年 9 月 28 日

阿波おどり振興協会 御中

阿波おどり実行委員会

委員長 遠藤彰良

2019 年度阿波おどりの開催に向けて

この夏の阿波おどりにつきましては、当委員会にとりまして初めての開催となりましたが、貴協会にもご協力をいただき、無事開催できましたことに対し、お礼申し上げます。

一方、当委員会では、観客の皆さまに、すべての有料演舞場において、有名連のおどりを満喫していただけるよう、22 時以降は有名連のみが踊り込む演出を採用いたしましたところ、貴協会の協力を得る事ができなかったところでございます。

また、安全・安心の観点から、「総おどり」と称する大規模なおどりは実施しないよう、再三にわたり要請してきたものの、8 月 13 日に、両国橋南詰おどりロードにおいて、雑踏事故が発生するリスクがあったにもかかわらず、貴協会が総おどりを強行したことは、極めて遺憾でございます。

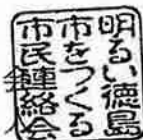
当委員会といたしましては、今後、今年の阿波おどり事業についてしっかり検証し、来年の阿波おどりに繋げていかなければならないと考えております。こうした中、来年の阿波おどりを円滑に、また盛況に開催するためには、貴協会と十分協議を行っていかなければならないと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以 上

平成30年10月22日

阿波踊り実行委員会
委員長 遠藤彰良殿

明るい徳島市をつくる市民連絡会
代表世話人 平岡保



〒770-0024徳島市佐古四番町8-1-505

連絡先 090-7577-3944

阿波踊り振興協会による「総踊り」強行問題と 今後の阿波踊りの運営について(要望)

阿波踊りの発展のためのご尽力に敬意を表します。

今年の阿波踊りにおいて、安全で安心なお祭りのイメージを壊す残念なことがありました。今後の阿波踊りの発展のためにも、また、再び同様な事態が生じることがないようにするためにも、以下のことを指摘し、要望いたします。

阿波踊り振興協会は、今夏の阿波踊り開催中の8月13日の夜、両国橋南詰め踊りロードにおいて、約千人に及ぶ踊り子集団による総踊りを強行しました。

総踊りに関しては、その安全面の危惧から、阿波踊り実行委員会から再三にわたり、中止するよう要請されていきました。さらに、総踊り実施現地での直前中止申し入れに対しても、全くこれを無視し強行に及んだものです。

当日夜、総踊り強行時の踊りロードは、大勢の見物客で大変混雑していました。その中には、小さな子どもたちもたくさんいました。そんな中での強行実施でした。幸いにして大きな事故もなく終了しましたが、それはあくまでも結果論です。ルールを無視し、安全で安心なお祭りである阿波踊りのイメージを大きく損ないました。こうした総踊りの強行は、絶対に許されない行為です。

また、この度の総踊りは、主催者である阿波踊り実行委員会の運営方針を真っ向から否定し、中止要請にも従わず強行されたものです。阿波踊りの発展・継承を大きく阻害するものであったといわざるを得ません。

阿波踊り実行委員会は、安全で安心な阿波踊りを未来につなぐために、危険極まりない「総踊り」を強行した阿波踊り振興協会に対し、「市民が納得できる十分な反省」を求めることを要望します。

また、実行委員長である遠藤市長には、今後とも、透明性のある公正で民主的な運営の阿波踊り実施に向けて、ご尽力されることを切にお願いいたします。

以上

阿波おどり運営協議会議事概要

○運営協議会は5月28日以来の開催であり、今年の阿波おどりは6月中旬以降から混迷していったと思うが、実行委員会だけが開かれていた。今年の阿波おどりの検証は別に有識者会議で行うとあるが、実行委員会と併せて実施されない運営協議会はどのような位置づけになるのか。

⇒運営協議会については、実行委員会に意見をいただく諮問機関である。

運営協議会は4、5月に開催しており、その内容については事業計画の策定にあたり、開催の骨格を決める事業計画について意見をいただいた。それ以降実行委員会については、運営協議会で意見をいただいた事業計画に基づいて、具体的な当日の人員配置等の議論を行っていたため、運営協議会は開催しなかった。

○総おどり中止の決定に関して、議論の過程は公開されないのか。遠藤市長によると、今回の様々な決定の判断を市長ではなく実行委員会の判断だと話していたが、各委員は今年の阿波おどりの混乱や結果的にチケットの販売率が大幅に減少したことについて、自らの責任をどの様に考えているのか。

⇒チケット販売率に関しては、結果としてかなり低迷したことを実行委員会委員一同、真摯に受け止めている。そのため、有識者会議を設置し、外部の目で検証していく必要がある。

○阿波おどりを楽しみたい、県外の皆様にも喜んでもらいたい、全国に発信したいという思いはみんな同じである。総おどりをしたい、前夜祭で踊りたいという踊り子たちは、普段仕事をして別々の生活をしている。そんな人たちが誇りを持って踊っているのだから、その気持ちは大切にしたい。これまでの状況は、まったく徳島のためになっていない、なのに皆阿波おどりが大好きで誇りに思っている。この矛盾を解消していただきたい。

○赤字を解消していくことは大事なことだが、赤字解消のためだけで開催しているような踊りやお祭りを本当に見たいと思うだろうか。阿波おどりというのは踊る阿呆や見る阿呆が主役になるようなお祭りであってほしい。主催者が主役ではなく、踊ってくれる方、見に来てくれる方、そういう方が主役になるような運営をしていかなければならない。

○旅行会社では、例年に比べてチケットの販売開始が1ヶ月程遅く、募集開始後に総おどり中止が発表されたこともあり、お客様が半分減ったとか、3割から5割程キャンセルになったとかで赤字が出ているところもある。このままでは、来年、旅行会社のツアー自体が減ってくる可能性がある所以对処していただきたい。

⇒できるだけ早く来年の阿波おどり開催の情報発信をしていきたい。

○最近の観光は、見る観光から体験型に変わってきている。来年度の開催については、見

る阿波おどり、踊る阿波おどりを分けて、踊りたいという欲求をどう満たしていくのかを
考えないといけない。

○各演舞場で4連ずつ最後に踊った今年の演出は相当見応えがあり、それぞれの連の特色
もはっきり見ることができるいい演出だと思う。しかし、去年までも有名連が2連は必ず
張り付いて踊っており、最後に観客は踊り場に降りて踊りながら出て行ってもらうところ
も同じことであり、新しい演出ではなかったと感じる。

○市長がテレビ番組に出て、徳島新聞と市長が懐に金を入れているという話が出ていたが、
15日に市長は番組に出るべきでなかったと思う。去年までは町内会は実行委員として働
いており、その時は徳島新聞社も社員が必死になってやられていた。

来年、こんな状態で阿波おどりをやっていけるのかどうか。きれい事ばかり言っていたの
では、有識者会議は必要ないと思う。失礼な言い方だが弁護士に話を聞いてどうにかなる
のか。それよりは、実際動いていた徳島新聞社と市役所の方々でもっと密に話をした方が
よりいいものができる。運営協議会に徳島新聞社も出席すべきでないか。

阿波おどり事業検証有識者会議の設置について

1 阿波おどり事業検証有識者会議設置要綱

(設置)

第1条 平成30年度阿波おどり事業において生じた課題（以下「課題」という。）について検証するため、阿波おどり事業検証有識者会議（以下、「有識者会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 有識者会議は、課題について専門的見地から意見を述べるとともに、阿波おどり実行委員会（以下「実行委員会」という。）に対し、検証結果について提言する。

(組織)

第3条 有識者会議は、別表に定める委員をもって構成する。

(任期)

第4条 委員の任期は、本要綱の施行日から実行委員会に提言する日までとする。

(委員長等)

第5条 有識者会議に委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

3 委員長は、会務を総理し、有識者会議を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、その職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第8条 有識者会議の運営に関する事務は、阿波おどり実行委員会事務局において処理する。

(必要事項)

第9条 この要綱に定めるもののほか、有識者会議の運営等について必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年9月28日から施行する。

別表

(敬称略、50音順)

氏名	所属等
岡本真一郎	株式会社ホテルグランドパレス 代表取締役社長
木村高大	株式会社日本旅行徳島支店 支店長
清水理	本家大名連 連長
竹中淳二	公益財団法人徳島経済研究所 理事事務局長
豊永寛二	小出・豊永法律事務所 弁護士
福山優	税理士法人福山会計 公認会計士

2 第一回阿波おどり事業検証有識者会議 議事概要

○平成28年度から3年間の決算を資料として出すことはできるのか。もし、無いのであれば概算でも決定してから検証しなければならないのではないか。

⇒平成28年度と平成30年度については出すことができるが、平成29年度については、決算はわからない状態である。契約書等は残っているので、それを積み上げることにより、概算は見えてくるが、残っている書類が全てなのかがわからない。平成29年度の最終的な収支を出すのは難しい状況である。

○人出の算出について、どのように推計しているのか。

⇒今年の推計方法は、去年までの人出と比較する今までと同様の方法で行っている。

去年の初日の人数を基に、演舞場の入り具合、臨時駐車場の空車状況、それから実際の街角の人込みの状況を比較して推計し、徳島新聞社と協議を行い決定した。

○人出の算出方法については、実行委員会としてきちんとした算出方法を示し、その結果を出さないと市民に余計な疑心暗鬼を生む。まずは今年の算出方法を相対的、主観的でもかまわないので出して、全国の他の祭りの算出方法を参考にし、次年度以降はどのような方法で算出するのかを決定すれば良いのではないか。

○市役所前演舞場ではかなり空席が目立っていたが、各有料演舞場の実際の来場者数は事務局で把握しているのか。

⇒入場者数については、チケット販売枚数だけであり、実際の演舞場への来場者数は集計していない。

○検証方法について、収支の工夫もあるが、透明性、客観性があれば多少赤字がでて仕方がない、赤字解消だけが目的だけではなく、お金がかかることは仕方がないと市民の納得が得られれば、必ずしも黒字にする必要がないかもしれないので、そのようなことを含めて議論していければと考えている。

○これからの阿波おどりをどう発展させていくか、観光客に来てもらい楽しんでもらうか、そのような視点を持ってやっていき、阿波おどりに来てもらうことに対して責任を持っていく人が必要である。それを市の職員が片手間でできるかと言うと難しいものがある。

○阿波おどり文化はみんなのものであり踊り手だけのものではない。阿波おどり嫌いな人はたくさんいる。そういった人の事も踏まえて公金が投入されている以上、そこはガバナンスを利かす必要があり情報を正確に出さないといけない。今回の騒動は情報がきちんと出なかったことが1番の原因だと思っているので、そういった意味で報道の関係の方に協力いただきたい。

3 阿波おどりの人出の推計方法について

(1) 基礎数値

	12日	13日	14日	15日
市役所前	ほぼ満席	8割程度	4割程度	3割程度
藍場浜	ほぼ満席	ほぼ満席	9割程度	5割程度
紺屋町	ほぼ満席	ほぼ満席	5割程度	4割弱
南内町	ほぼ満席	9割程度	5割程度	1~2割
新町	満員	満席	ほぼ満席	5割程度
元町	ほぼ満席	満席	満席	8割程度
両国本町	ほぼ満席	満席	満席	9割程度
総合案内所 宿泊問い合わせ 状況	昨年より5%減くらい	昨年よりかなり少ない	昨年よりかなり少ない	昨年よりかなり少ない
新町小	満車	満車	満車	満車
内町小	満車	満車	満車	満車
富田小	満車	満車	満車	90台空き
徳島中	満車	10台空き	20台空き	200台空き
富田中央	満車	満車	満車	5台空き
東富田	満車	満車	満車	満車
西富田	満車	満車	満車	25台空き
県庁	満車	15台空き	30台空き	80台空き
吉野川	150台空き	300台空き	300台空き	50台空き
マリンミナル	満車	70台空き	110台空き	410台空き
雑踏	若干減	昨日と同程度	若干減	かなり減

注) 19時30分の状況

(2) 人出の推計方法

① 人出の状況

	12日	13日	14日	15日	計
平成29年度 ア	35万人	35万人	29万人	24万人	123万人
平成30年度 イ	33万人	30万人	27万人	18万人	108万人
差引 イーア	△2万人	△5万人	△2万人	△6万人	△15万人

② 推計方法

ア 基本的な考え方

- a 12日の昨年の人出の状況と1の基礎数値を基に、12日の人出を推計
- b 13日以降は、前日の人出の状況と、1の基礎数値を基に、各日の人出を推計

イ 具体的な推計方法

- a 12日は、総合案内所及び街角の雑踏が昨年より若干減となる以外は、ほぼ満員なので、昨年の5%減の33万人と推計した。
- b 13日は、演舞場が12日より1割減程度。駐車場も12日よりは若干減なので、12日の1割減の30万人と推計した。
- c 14日は、演舞場は13日の5割～9割程度となったものの、駐車場は13日と同程度。街角の雑踏は若干減であったことから、13日の1割減の27万人と推計した。
- d 15日は、演舞場が14日の5割～9割程度となっており、駐車場も空きが目立ったことから、14日の3.5割減の18万人と推計した。

【参考 臨時駐車場等の空車状況について】

単位 台)

駐車場名	駐車 台数	1 2 日 (日)						1 3 日 (月)						1 4 日 (火)						1 5 日 (水)									
		13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
		満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車
新町小グラウン ド	250	20	満車	満車	満車	満車	満車	満車	80	50	満車	満車	満車	満車	満車	200	100	満車	満車	満車	満車	満車	200	130	120	満車	満車	満車	満車
内町小グラウン ド	350	180	140	満車	満車	満車	満車	満車	210	150	満車	満車	満車	満車	満車	180	140	50	満車	満車	満車	満車	210	190	140	100	満車	満車	満車
富田小グラウン ド	350	340	180	170	80	満車	満車	満車	190	190	180	100	満車	満車	満車	195	190	180	150	70	満車	満車	190	190	190	180	175	140	90
徳島中グラウン ド	350	340	240	230	70	100	満車	満車	240	240	235	210	150	70	245	240	240	205	140	80	20	250	250	250	249	248	240	220	200
富田中央公園	100	90	70	60	満車	満車	満車	満車	90	80	60	30	満車	満車	90	80	60	10	満車	満車	満車	95	90	80	80	60	30	6	5
東富田公園	100	90	65	10	満車	満車	満車	満車	80	70	65	35	満車	満車	70	60	40	10	満車	満車	満車	87	65	60	60	50	5	満車	満車
西富田公園	60	60	50	50	40	満車	満車	満車	53	50	50	45	15	満車	57	56	50	47	37	満車	満車	57	58	56	55	58	34	25	
徳島県庁駐車場	210	60	30	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車
吉野川河川敷緑 地	1000	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車
マリナーミナ ル	550	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車	満車

4 他の祭り開催状況

	阿波おどり	鳴門市阿波おどり	いけだ阿波おどり
1 名称	阿波おどり	鳴門市阿波おどり	いけだ阿波おどり
2 開催日時	8月11日前夜祭、8月12日～15日 曜日に関係なく日にちで固定	8月9日、10日、11日	8月13日(前夜祭)8月14日～16日 曜日に関係なく日にちで固定
3 運営体制関係			
(1) 主催者	阿波おどり実行委員会	鳴門市・鳴門商工会議所・鳴門市うずしお観光協会	三好市、三好市観光協会、阿波池田商工会議所
(2) 主催者の構成	徳島県商工会議所連合会、徳島県中小企業団体中央会、徳島県商工会連合会、徳島青年会議所、徳島市国際交流協会、日本旅行業協会中四国支部徳島地区委員会、徳島新聞社、徳島市	鳴門市・鳴門商工会議所・鳴門市うずしお観光協会	同上
(3) 事務局	阿波おどり実行委員会事務局 徳島市観光課内	鳴門阿波おどり実行委員会事務局	三好市観光協会 三好市観光課内
(4) 事務局体制	課内の阿波おどり担当は、課長補佐1、係長1、担当3、臨時職員2。6月～8月の3か月間は、他部署から正規8人応援有り	9名 (市3名、会議所3名、観光協会3名)	課内の阿波おどり担当は、職員1名と嘱託職員1名(課長以下11名中)。14～16日は他部署より、4～5名応援。
4 来場者数関係			
(1) 直近の来場者数	30年度 108万人	30年度 83,000人	5.8万人(H30年度)
(2) 来場者数の推計方法	昨年の人出の人数を基に、街角の雑踏状況や棧敷の入り込み状況、駐車場の空車状況などから感覚的に推計	昨年の人出の人数を基に、街角の雑踏状況や棧敷の入り込み状況、駐車場の空車状況などから感覚的に推計	昨年の人出の人数を基に、街角の雑踏状況や棧敷の入り込み状況、駐車場の空車状況などから感覚的に推計
5 有料観覧席関係			
(1) 有料観覧席の有無	有り	有り	有り
(2) 有料観覧席の席数	約13,000席	約2,500席	858席
(3) 有料チケットの販売方法	チケット販売会社に委託(30年度は、チケットぴあ) 前売券は、インターネット、電話販売又はコンビニ販売 当日券は、上記に加えて特設販売所を設けて対面販売	【前売り券】 チケットぴあ・ローソンチケット・鳴門市うずしお観光協会 【当日券】 棧敷席周辺に販売所を設置	前夜祭は観光協会 14～16日の棧敷席券は、当日販売のみ(ライオンズクラブの運営)
(4) 有料チケットの価格	800円～5,200円	700円～1,000円	前夜祭:前売1,000円 当日1,300円 棧敷席:大人500円 小人300円
(5) 有料チケットの発券手数料	108円(購入時にチケット料金とは別に本人が負担) インターネット購入の場合は、さらに手数料(216円)が発生	108円(購入時にチケット料金とは別に本人が負担)	なし
6 参加者側の負担	踊り手の負担はなく、有名連には出演料を払って出演してもらっている。 有料演舞場:2万円/回、選抜阿波おどり:92,000円～241,000円など	踊り手に出演料を支払う。 (1日7万円又は10万円)	踊り手の負担はなし。 前夜祭は三好市観光連(出演料支払い)本番は通り毎に金額設定。後日振込。
7 契約の状況	入札できるものは入札しているが、工事関係はほとんど随意契約。	随意契約(合見積り等)等	入札できるところは入札。 工事はほとんど随意契約。
8 直近の規模等	239,804千円(H30収入見込) 26,294千円(H30補助金見込) 258,146千円(H30支出見込)	28,680千円(H29収入・支出決算)	13,807千円(H30年度予算)

	高円寺阿波おどり	南越谷阿波おどり	高知よさこい祭り
1 名称	東京高円寺阿波おどり	南越谷阿波踊り	よさこい祭り
2 開催日時	8月25日・26日 原則として8月の第4週の土日	8月19日以降(15日のお盆明け中3日以上)の最初の土日を本祭とし、本祭前日の金曜日に前夜祭を行う。	8月9日 前夜祭・高知市納涼花火大会 8月10・11日 祭り本番 8月12日 よさこい全国大会・後夜祭
3 運営体制関係			
(1) 主催者	東京高円寺阿波おどり実行委員会 (委員長:東京高円寺阿波おどり振興協合理事長)	南越谷阿波踊り実行委員会 (一社)南越谷阿波踊り振興会 (委員長:南越谷商店会会長)	よさこい祭振興会 (会長:高知商工会議所会頭)
(2) 主催者の構成	特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会を核にして、連携する商店街(10団体)、自治会(11団体)、連協会及び共催の杉並区	<南越谷阿波踊り実行委員会構成> 南越谷商店会、(一社)南越谷阿波踊り振興会、越谷商工会議所、(一社)越谷市観光協会、越谷市、南越谷地区自治会連合会、南越谷地区コミュニティ推進協議会、蒲生地区自治会連合会、蒲生地区コミュニティ推進協議会、東日本旅客鉄道(株)南越谷駅、東武鉄道(株)南越谷駅、朝日新聞社東埼玉支局、ボラス協力会	高知県、高知市、高知新聞社、高知放送、高知商工会議所
(3) 事務局	特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会	(一社)南越谷阿波踊り振興会内	高知商工会議所中小企業相談所地域振興課内 よさこい祭振興会
(4) 事務局体制	常勤者:事務局長1名 局員1名 適時に杉並区役所よりの支援あり アルバイト:2名~3名 5月から9月の5か月間	(一社)南越谷阿波踊り振興会内にある運営委員会で組織(委員長1・副委員長1・マネージャー3)	課内の担当は、課長1名、課長補佐1名、よさこい祭振興会事務局長1名、振興会職員1名、担当3名
4 来場者数関係			
(1) 直近の来場者数	30年度 延べ93万人	H30年度:前夜祭含め3日間で75万人	115万人(H30年度)
(2) 来場者数の推計方法	例年の人出の人数を基に、会場および周辺地域の雑踏状況などから、感覚的に推計	鉄道の乗降客数、ゴミの排出量、街角の雑踏状況等から実行委員会が推計	昨年の人出の人数を基に、各競演場・演舞場の雑踏混雑状況等を聞き取って推計
5 有料観覧席関係			
(1) 有料観覧席の有無	賛助会員席及び協賛者席という名称 販売ではなく寄付金の扱い 但し、税務上では課税売上として申告	無し	有り
(2) 有料観覧席の席数	賛助会員席 250席/1日 1演舞場 協賛者席 770席/1日 3演舞場		約2,680席
(3) 有料チケットの販売方法	受付方法は以下のとおり ① 賛助会員:メール 紙媒体の申込書で申込 ② 協賛者席 往復葉書又はインターネット インターネットは楽天チケットスターと連携し、ネット上に高円寺まつりチケットセンターを設けて、ここで申込を受けつける		販売会社に委託。 前売券は、インターネット・コンビニ販売・対面販売等 当日券は、インターネット・コンビニ販売に加えて当日券販売所を設けて対面販売
(4) 有料チケットの価格	① 賛助会員席:15,000円(年会費) ② 協賛者席:6,000円 7,000円 8,000円		1,000円~1,800円
(5) 有料チケットの発券手数料	① 賛助会員席:申込書⇒振込⇒枚数への入場証を送付 ② 協賛者席:発券・支払いは全てコンビニで対応 協賛金以外に以下の手数料が発生します。 システム利用料:162円/枚 発券手数料:108円/枚 決済手数料:216円/件(カード払では必要なし)		購入場所により、1枚につき108円の発券手数料を購入者が負担。 その他システム利用料等も購入者負担。
6 参加者側の負担	参加費として以下が発生します。 登録料:50,000円/1連 個人参加費:500円/1日 一人当たり(連ごとに徴収)	原則負担は無いが、参加連には警備人員を2名(各日)供出してもらっているため、供出できない場合は警備費用として13,000円(人・日)の支払が発生する。	参加協力費 1チーム 60,000円 前夜祭出場チームのみ別途前夜祭参加費として1チーム60,000円 よさこい全国大会(1チーム20,000円、10・11日のよさこい祭りに参加するチームは免除)
7 契約の状況	基本的に随意契約が前提 但しレンタル備品等は毎年業者の見直し	(一社)南越谷阿波踊り振興会が契約。	見積書、相見積もり、プロポーザル、公告入札と発注内容によって区分している
8 直近の規模等		2017年(第33回)総事業費決算 100,900千円 2018年(第34回)総事業費予算 96,300千円	-

	青森ねぶた祭	京都祇園祭
1 名称	青森ねぶた祭	京都祇園祭
2 開催日時	8月2日～7日 曜日に関係なく日にちで固定	7月17日:前祭 7月24日:後祭 (曜日にかかわらず)
3 運営体制関係		
(1) 主催者	青森ねぶた祭実行委員会	祇園祭 :八坂神社祭礼(神事) 山鉾行事 : (公財)祇園祭山鉾連合会 観覧席設置事業:(公社)京都市観光協会
(2) 主催者の構成	青森市、青森商工会議所、青森観光コンベンション協会、その他関係団体	同上
(3) 事務局	公益社団法人青森観光コンベンション協会	同上
(4) 事務局体制	協会職員7名 アルバイト3名(6月～8月)	課長1名、担当2名 当日受入体制(全組織) 7月17日:20名 7月24日:12名
4 来場者数関係		
(1) 直近の来場者数	280万人(H30年度)	7月17日 16.5万人(H30年度) 7月24日 4.2万人(H30年度)
(2) 来場者数の推計方法	—	京都府警調べ
5 有料観覧席関係		
(1) 有料観覧席の有無	有り	有り
(2) 有料観覧席の席数	約11,500席	7月17日 約14,000席 7月24日 約2,400席
(3) 有料チケットの販売方法	協会直接販売 地元旅行社窓口(5社) チケットぴあ、ローソンチケット、セブンチケット	旅行会社 :JTB、KNT、日本旅行など チケット販売会社:CNプレイガイド、楽天チケット、チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、 Voyagin インターネット 観光案内所
(4) 有料チケットの価格	3,000円(車イス席のみ2,600円)	当日券(現地) 3,180～10,000円
(5) 有料チケットの発券手数料	108円(購入時にチケット料金とは別に本人が負担) インターネット購入の場合は、さらに手数料(216円)が発生	購入先により、0円～756円(発券・配送手数料)
6 参加者側の負担	ねぶた小屋建設負担として 110万円 無料棧敷使用負担として 4.2万円	
7 契約の状況	1千万円以上は入札、その他見積合わせ(協会規定による)	競争入札
8 直近の規模等	206,500千円(H30収入見込) 22,202千円(H30青森市負担金見込) 42,827千円(H29決算青森市負担金) 205,947千円(H30支出見込)	